

2023年度 入学試験要項

大学院入学試験

社会福祉学研究科

社会福祉学専攻（修士課程）
臨床心理学専攻（修士課程）
社会福祉学専攻（博士〔後期〕課程）

文学研究科

言語文化コミュニケーション専攻（修士課程）

経済学研究科

経済学専攻（修士課程）



〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
【入試課】 Tel 011-891-2731 (代表)

目 次

<北星学園大学大学院>

アドミッションポリシー(入学者受入方針)	1
----------------------------	---

【入学試験概要／出願資格／出願書類】

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(修士課程)	3
社会福祉学研究科 臨床心理学専攻(修士課程)	6
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(博士〔後期〕課程)	9
文学研究科 言語文化コミュニケーション専攻(修士課程)	11
経済学研究科 経済学専攻(修士課程)	14

【各研究科共通】

1. 入学資格事前審査	17
2. 出願手続	18
3. 試験日程・試験場・合格発表	19
4. 入学手続	20
5. 入学金・学費等	21

【修士課程共通】

6. 長期履修制度	22
-----------------	----

【経済学研究科のみ】

7. 先取り科目等履修生制度	23
8. 早期修了制度	24

【添付書類】

履歴書	25
科目履修証明書(臨床心理学専攻のみ)	27~29
身元保証書(外国人留学生入学のみ)	31
経費支弁計画書(外国人留学生入学のみ)	33
大学卒業後の研究業績一覧(社会福祉学専攻(博士〔後期〕課程)のみ)	35
試験場案内図	37

個人情報の取り扱いについて

本学では、「北星学園大学 学生の個人情報の保護に関する規程」を制定し、大学院生の個人情報の保護に努めています。

このたびの入学試験出願に伴い提出していただく各種書類の個人情報につきましては、本学の個人情報保護規程の趣旨に従い、慎重に取り扱いをいたします。提出された個人情報は、学内で管理し、入学試験の実施及び個人を特定しない形で統計的資料作成に使用します。なお、入学された方については、入学後に一部学籍管理情報として使用いたします。

北星学園大学大学院アドミッションポリシー（入学者受入方針）

【社会福祉学研究科 社会福祉学専攻】

わが国では急速な少子高齢化が進行しており、社会保障、社会福祉制度などの諸課題に対して、理念・制度レベルに加え、実践レベルでの解決が求められている。一方で、社会システムの変化や価値観の多様化などが人間関係に変化をもたらし、様々な場面での心理社会的課題の解決が求められている。

社会福祉学専攻では、社会福祉学について高度な専門的知識を備え、研究・分析能力を身につけた専門家を目指す人を求めている。

そのため、入学を希望する者は、社会福祉学に関する基礎的知識（学部卒業程度）が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。

【社会福祉学研究科 臨床心理学専攻】

わが国では急速な少子高齢化が進行しており、社会保障、社会福祉制度などの諸課題に対して、理念・制度レベルに加え、実践レベルでの解決が求められている。一方で、社会システムの変化や価値観の多様化などが人間関係に変化をもたらし、様々な場面での心理社会的課題の解決が求められている。

臨床心理学専攻では、臨床心理学について高度な専門的知識を備え、研究・分析能力、さらには実践能力を身につける、という専攻の教育目標を理解し、高度な専門性を有する職業人たることを志す人を求めている。

そのため、入学を希望する者は、心理学に関する基礎的知識（学部卒業程度）が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。

【社会福祉学専攻 博士〔後期〕課程】

社会福祉学研究科博士〔後期〕課程では、福祉・保健・医療分野における専門職スタッフを対象とする高度な専門的職業人の育成、大学・短期大学等における社会福祉士養成に関わる教育・研究者の養成を目的としている。

社会福祉学研究科博士〔後期〕課程では、国内外の最先端の研究動向・研究課題について、文献研究能力、プレゼンテーション能力、論文作成能力の向上を目標とする人材を求めている。

そのため、入学を希望する者は、社会福祉学に関する専門的知識（修士課程修了程度）が必要である。また、入学者選抜試験については、海外文献読解能力を測る英語筆記試験とともに、専門知識についての口述試験を行う。

【文学研究科 言語文化コミュニケーション専攻】

言語文化コミュニケーション専攻では、コミュニケーションを単に言語学習や交渉術の修得にとどめることなく、対象とする文化の歴史的・社会的・心理的背景を考慮することができ、あわせて人間に対する深い関心と理解を兼ね備えた能力を持つ人材育成を教育目標としている。

したがって、英米の文化と文学、英語と言語学、英語教育に関心がある人だけではなく、コミュニケーションの根本的な特性にまで考察を深めていこうとする人を求めている。

そのため、入学を希望する者は、英米の文化と文学、語学に関する基礎的知識（学部卒業程度）が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。

【経済学研究科 経済学専攻】

経済学専攻では、高度な研究能力を備えた専門家や専門的職業人の育成を目的とし、

- ・経済や企業経営を研究・分析し評価できる能力を身につけたいと考えている学部卒業生
- ・ビジネスに関わる国家資格取得を目指している学部卒業生・社会人
- ・経済理論や経営理論を利用して自らの組織をさらに拡充させたいと考えている地域経済の担い手や企業経営の一角を担っている社会人

- ・最新の経済理論を身につけることで教育内容を充実させたいと考えている中学・高校教員
- ・日本経済の発展と課題を研究することで、自国経済に活かしたいと考えている外国人留学生を求めている。

そのため、入学を希望する者は、経済学や経営学に関する基礎的知識(学部卒業程度)が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。

入学者選抜方法と基本方針

北星学園大学大学院では、一般入学試験の他に、リカレント入学試験、外国人留学生入学試験、北星学園大学学内選考(推薦)入学試験、姉妹校提携大学推薦外国人留学生入学試験を実施しています。多様な入学者選抜方法により、有為な人材を迎えることができるよう志願者の能力・資質を適切に評価・判定します。

(1) 一般入学試験

一般入学試験は、学力検査及び提出書類の審査によって行います。本学で研究を行うために必要な基礎的な能力を評価・判定します。(経済学研究科は学力検査は行わず、面接及び提出書類の審査による)

(2) リカレント入学試験

すでに社会の様々な分野で活躍する社会人が、自ら関連する分野の専門性や学際的知見を獲得し、また向上させるための教育機関として、夜間そのほか特定の時期において授業と研究指導を行い(臨床心理学専攻を除く)、職業生活と両立しやすい勉学条件を整え、積極的に大学院の門戸を開放しています。社会福祉学研究科リカレント入学試験は、学力試験及び提出書類の審査に加え、実践記録等の評価を加味し判定します。文学研究科リカレント入学試験は、学力試験及び提出書類の審査によって行い、現職の中学校、高等学校及び英語教育に携わっている教員の場合は、検定試験等の受検の有無は問いません。経済学研究科リカレント入学試験は、面接試験及び提出書類の審査によって行い、本大学院志願の動機・理由・研究計画などを評価・判定します。

(3) 外国人留学生入学試験(博士〔後期〕課程を除く)

日本で大学院教育を受けたいと希望する外国人学生が増加しています。この制度は本学独自の試験により選抜するものです。なお、外国人留学生のための特別の教育課程を有していませんので、通常の講義等は日本人学生と同様に履修することになります。外国人留学生入学試験は、学力検査及び提出書類の審査によって行います。本学で研究を行うために必要な基礎的な能力を評価・判定します。(経済学研究科は学力検査は行わず、面接及び提出書類の審査による)

(4) 北星学園大学学内選考(推薦)入学試験

北星学園大学学内選考(推薦)入学試験は、本大学院への進学を特に強く希望する志願者を対象に、北星学園大学の文学・経済学・社会福祉学部長の推薦書に基づいて行う入学者選抜です。北星学園大学学内選考(推薦)入学試験は、北星学園大学の文学・経済学・社会福祉学部から推薦を受けた志願者を対象としています。北星学園大学学内選考(推薦)入学試験においては、筆記試験等は行わず、面接を課しており、本大学院志願の動機・理由・研究計画などを評価・判定します。

(5) 姉妹校提携大学推薦外国人留学生入学試験(経済学研究科のみ)

姉妹校提携大学推薦外国人留学生入学試験は、本大学院への進学を特に強く希望する志願者を対象に、姉妹校校長の推薦に基づいて行う入学者選抜です。姉妹校提携大学推薦外国人留学生入学試験においては、筆記試験等は行わず、面接および提出書類の審査によって行います。本学で研究を行うために必要な基礎的な能力を評価・判定します。

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（修士課程）

1. 入学試験概要

	第1期募集	第2期募集
入学定員	8名	
募集人員	4名	4名
募集対象	一般入学 リカレント入学	一般入学 リカレント入学 外国人留学生入学
出願期間	2022年8月29日(月)～9月5日(月) 消印有効	2023年1月13日(金)～1月20日(金) 消印有効
試験日	2022年9月24日(土)	2023年2月25日(土)
試験場	北星学園大学校舎（37頁の試験場案内図参照）	
試験時間割	試験科目	選抜方法
9:30	集合着席	(1) 一般入学及び外国人留学生入学 学力検査及び提出書類の審査によって行う。 学力検査は、筆記試験（専門知識Ⅰ・Ⅱ）及び面接試験とする。 (2) リカレント入学（職業人入学） 学力検査及び提出書類の審査によって行う。さらに実践記録等の評価を加味する。 学力検査は、筆記試験（専門知識Ⅰ・Ⅱ）及び面接試験とする。
9:40 ∩ 10:40	専門知識Ⅰ (100点)	
11:00 ∩ 12:00	専門知識Ⅱ (100点)	
13:00 ∩	面接試験 (100点)	
合格発表	2022年9月30日(金)10時	2023年3月3日(金)10時
入学手続締切	2022年10月14日(金)15時	2023年3月10日(金)15時

※ 北星学園大学学内選考（推薦）入試
 北星学園大学の在学学生を対象に学内選考（推薦）入試を実施している。募集要項及び推薦基準は、学内で発表する。

2. 出願資格

(1) 一般入学

- ① 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ④ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ⑤ 外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1. 入学資格事前審査」参照）
※個別の入学資格審査は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が対象

(2) リカレント入学（職業人入学）

「(1) 一般入学」の①～⑧のいずれかであって、かつ社会福祉施設・機関等における職員として、試験日時点において2年（24か月）以上の現場経験を有している者。ただし、大学（昼間部）在学中の者を除く。

〔社会福祉施設・機関等の現職及び現場経験の範囲〕

- ア 社会福祉法及び社会福祉六法に定める施設・機関での福祉関連業務経験を有する者
- イ 保健師、看護師並びに保健医療施設・機関（看護学校等を含む）において保健・福祉に関わる経験を有する者
- ウ 学校教育及び社会教育に関する業務で福祉教育・障害児教育に従事している者、社会福祉士及び介護福祉士養成施設、専門学校等で教育に従事している者
- エ 更生保護事業及びそれに準ずる業務の経験を有する者
- オ その他社会福祉に関連した業務に従事している者で本大学院において認めた者

(3) 外国人留学生入学

外国の国籍を有する者で、次の①～③のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者
- ② 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1. 入学資格事前審査」参照）
- ③ 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者

（注）上記③に該当する者は日本語能力試験N1の資格は不要

ただし、①または②に該当する者は、公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験N1に合格している者

3. 出願書類

提出書類等	募 集 対 象		
	一般入学	リカレント入学	外国人留学生入学
① 入学志願票（本学所定のもの） A票とC票に、指示に従って鮮明な写真を2枚貼付すること	○	○	○
② 最終出身大学の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	○	○	○
③ 最終出身大学の単位修得・成績証明書	○	○	○
④ 履歴書（本学所定のもの：25頁）	○	○	○
⑤ 研究計画（修士課程で研究を深めたいテーマ及び研究計画） A4版（40字×30行）で4,000～6,000字とする（原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること）。作成にあたり指導を希望する教員がいる場合は、事前にアドバイスを受けることができる。	○	○	○
⑥ 封筒B（本学所定のもの：受験票送付用） 344円分の切手を貼付すること。	○	○	○
⑦ 2年以上の現場経験を踏まえた実践記録 A4版（40字×30行）で、2,000～4,000字とする（原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること）。なお、参考資料として、既に刊行されているものを添付（コピー可）してもよい。	×	○	×
⑧ 最終出身学校長の推薦書	×	×	○
⑨ 日本語能力認定書（公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金の日本語能力試験N1）又は「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」 「2. 出願資格」の（3）外国人留学生入学の①、②に該当する場合	×	×	○
⑩ 身元保証書（保証人は日本国内在住者に限る、本学所定のもの：31頁）	×	×	○
⑪ 外国人登録証明書又は在留カードの写し（表面、裏面両方コピーしたもの）	×	×	○
⑫ 経費支弁計画書（本学所定のもの：33頁）	×	×	○

（注）上記②、③、⑧に掲げる証明書には、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館等公的機関が証明した、日本語又は英語の訳文原本を添付してください。

社会福祉学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）

1. 入学試験概要

	第1期募集	第2期募集
入学定員	4名	
募集人員	4名	若干名
募集対象	一般入学 リカレント入学	一般入学 リカレント入学 外国人留学生入学
出願期間	2022年8月29日(月)～9月5日(月) 消印有効	2023年1月13日(金)～1月20日(金) 消印有効
試験日	2022年9月24日(土)	2023年2月25日(土)
試験場	北星学園大学校舎（37頁の試験場案内図参照）	
試験時間割	試験科目	選抜方法
筆記試験		<p>(1) 一般入学及び外国人留学生入学</p> <p>学力検査及び提出書類の審査によって行う。 学力検査は、筆記試験（専門知識・英語）及び面接試験とする。英語については、英和辞典一冊を持ち込み参照することができる（ただし、電子辞書、和英辞典併載の英和辞典は不可）。 なお、筆記試験の合格者のみ面接試験を行う。</p> <p>(2) リカレント入学（職業人入学）</p> <p>学力検査及び提出書類の審査によって行う。さらに実践記録等の評価を加味する。 学力検査は、筆記試験（専門知識・英語）及び面接試験とする。英語については、英和辞典一冊を持ち込み参照することができる（ただし、電子辞書、和英辞典併載の英和辞典は不可）。 なお、筆記試験の合格者のみ面接試験を行う。</p>
9:00	集合着席	
9:10 ） 10:40	専門知識 (200点)	
11:00 ） 12:00	英 語 (100点)	
15:00	面接対象者の 発表	
面接試験		
15:20	集合着席	
15:30 ）	面接試験 (100点)	
合格発表	2022年9月30日(金)10時	2023年3月3日(金)10時
入学手続締切	2022年10月14日(金)15時	2023年3月10日(金)15時
注 意 事 項	臨床心理学専攻の授業は昼間の開講です。	

※ 北星学園大学学内選考（推薦）入試

北星学園大学の在学学生を対象に学内選考（推薦）入試を実施している。募集要項及び推薦基準は、学内で発表する。

2. 出願資格

(1) 一般入学

- ① 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ④ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ⑤ 外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1. 入学資格事前審査」参照）
※個別の入学資格審査は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が対象

(2) リカレント入学（職業人入学）

「(1) 一般入学」の①～⑧のいずれかであって、かつ社会福祉施設・機関等における職員として、試験日時点において2年（24か月）以上の現場経験を有している者。ただし、大学（昼間部）在学中の者を除く。

〔心理臨床経験、社会福祉施設・機関等の現職及び現場経験の範囲〕

- ア 社会福祉法及び社会福祉六法に定める施設・機関での福祉関連業務経験を有する者
- イ 保健師、看護師並びに保健医療施設・機関（精神保健センター、看護学校等を含む）において保健・福祉に関わる経験を有する者
- ウ 学校教育及び社会教育に関する業務で福祉教育・障害児教育に従事している者、社会福祉士及び介護福祉士養成施設、専門学校等で教育に従事している者、教育相談機関における業務の経験を有する者
- エ 更生保護事業及びそれに準ずる業務の経験を有する者
- オ 矯正保護機関及び施設（少年鑑別所、少年院、刑務所等）、司法関係機関（家庭裁判所等）における業務の経験を有する者
- カ 大学に設置された保健管理センター又は心理教育相談所等、あるいは事業所等に設置された保健センター又は心理相談機関等における業務の経験を有する者
- キ その他社会福祉又は心理臨床に関連した業務に従事している者で本大学院において認めた者

(3) 外国人留学生入学

外国の国籍を有する者で、次の①～③のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者
- ② 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1. 入学資格事前審査」参照）

③ 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者

（注）上記③に該当する者は日本語能力試験N1の資格は不要

ただし、①または②に該当する者は、公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験N1に合格している者

3. 出願書類

提出書類等	募 集 対 象		
	一般入学	リカレント入学	外国人留学生入学
① 入学志願票（本学所定のもの） A票とC票に、指示に従って鮮明な写真を2枚貼付すること	○	○	○
② 最終出身大学の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	○	○	○
③ 最終出身大学の単位修得・成績証明書	○	○	○
④ 履歴書（本学所定のもの：25頁）	○	○	○
⑤ 研究計画（修士課程で研究を深めたいテーマ及び研究計画） A4版（40字×30行）で4,000～6,000字とする（原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること）。作成にあたり指導を希望する教員がいる場合は、事前にアドバイスを受けることができる。	○	○	○
⑥ 封筒B（本学所定のもの：受験票送付用） 344円分の切手を貼付すること。	○	○	○
⑦ 公認心理師法施行規則第1条の2に規定する科目に関する科目履修証明書（本学所定のもの：27頁）、または公認心理師法施行規則附則第3条に規定する科目に関する科目履修証明書（2017年9月15日以前に4年制大学に入学した者は、本学所定のもの：29頁）	○	○	○
⑧ 2年以上の現場経験を踏まえた実践記録 A4版（40字×30行）で、2,000～4,000字とする（原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること）。なお、参考資料として、既に刊行されているものを添付（コピー可）してもよい。	×	○	×
⑨ 最終出身学校長の推薦書	×	×	○
⑩ 日本語能力認定書（公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金の日本語能力試験N1）又は「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」 「2. 出願資格」の（3）外国人留学生入学の①、②に該当する場合	×	×	○
⑪ 身元保証書（保証人は日本国内在住者に限る、本学所定のもの：31頁）	×	×	○
⑫ 外国人登録証明書又は在留カードの写し（表面、裏面両方コピーしたもの）	×	×	○
⑬ 経費支弁計画書（本学所定のもの：33頁）	×	×	○

（注）上記、②、③、⑨に掲げる証明書には、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館等公的機関が証明した、日本語又は英語の訳文原本を添付してください。

<お知らせ 選抜方法の一部変更について>

2024年度入学試験より、出題形式を以下のとおり変更します。

	現行（2023年度まで）	変更後（2024年度から）
試験科目	専門知識（200点、90分）	専門知識Ⅰ（100点、50分）
		専門知識Ⅱ（100点、50分）

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(博士〔後期〕課程)

1. 入学試験概要

入 学 定 員		3 名
募 集 人 員		3 名
募 集 対 象		一般入学・リカレント入学
出 願 期 間		2023年1月13日(金)～1月20日(金) 消印有効
試 験 日		2023年2月25日(土)
試 験 場		北星学園大学校舎 (37頁の試験場案内図参照)
試 験 時 間 割	試 験 科 目	選 抜 方 法
9:50	集合着席	<p>(1) 一般入学</p> <p>学力検査(英語・口述試験)及び提出書類の審査によって行う。</p> <p>口述試験は、専門知識について行う(一人につき30分間)。</p> <p>英語については、英和辞典一冊を持ち込み参照することができる(ただし、電子辞書、和英辞典併載の英和辞典は不可)。</p> <p>(2) リカレント入学(職業人入学)</p> <p>学力検査(英語・口述試験)及び提出書類の審査によって行い、さらに実践記録等の評価を加味する。</p> <p>口述試験は、専門知識について行う(一人につき30分間)。</p> <p>英語については、英和辞典一冊を持ち込み参照することができる(ただし、電子辞書、和英辞典併載の英和辞典は不可)。</p>
10:00) 12:00	英 語 (100点)	
13:00)	口述試験 (200点)	
合 格 発 表		2023年3月3日(金)10時
入 学 手 続 締 切		2023年3月10日(金)15時

2. 出願資格

(1) 一般入学

- ① 修士の学位または専門職学位を有する者及び2023(令和5)年3月までに取得見込みの者
- ② 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023(令和5)年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023(令和5)年4月1日現在で満24歳に達する者(17頁「1.

入学資格事前審査」参照)

(2) リカレント入学(職業人入学)

「(1) 一般入学」の①～⑥いずれかであって、かつ社会福祉施設・機関等における職員として、試験日時点において2年(24か月)以上の現場経験を有している者

[社会福祉施設・機関等の現職及び現場経験、心理臨床経験の範囲]

- ア 社会福祉法及び社会福祉六法に定める施設・機関での福祉関連業務経験を有する者
- イ 保健師、看護師並びに保健医療施設・機関(看護学校等を含む)において保健・福祉に関わる経験を有する者
- ウ 学校教育及び社会教育に関する業務で福祉教育・障害児教育に従事している者、社会福祉士及び介護福祉士養成施設、専門学校等で教育に従事している者
- エ 更生保護事業及びそれに準ずる業務の経験を有する者
- オ 矯正保護機関及び施設(少年鑑別所、少年院、刑務所等)、司法関係機関(家庭裁判所等)における業務の経験を有する者
- カ 大学に設置された保健管理センター又は心理教育相談所等、あるいは事業所等に設置された保健センター又は心理相談機関等における業務の経験を有する者
- キ その他社会福祉又は心理臨床に関連した業務に従事している者で本大学院において認められた者

3. 出願書類

提出書類等	募集対象	
	一般入学	リカレント入学
① 入学志願票(本学所定のもの) A票とC票に、指示に従って鮮明な写真を2枚貼付すること	○	○
② 最終出身大学院の修了証明書又は修了見込証明書	○	○
③ 最終出身大学院の単位修得・成績証明書	○	○
④ 履歴書(本学所定のもの:25頁)	○	○
⑤ 研究計画(博士〔後期〕課程で研究を深めたいテーマ及び研究計画) A4版(40字×30行)で、4,000～6,000字とする(原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること)。作成にあたっては、指導希望教授のアドバイスを受けること。	○	○
⑥ 2年以上の現場経験を踏まえた実践記録 A4版(40字×30行)で、2,000～4,000字とする(原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること)。なお、参考資料として、既に刊行されているものを添付(コピー可)してもよい。	×	○
⑦ 修士論文の写し(本学大学院修士課程出身者は不要)又はこれに代わる研究論文	○	○
⑧ 修士論文の要約(4,000字程度) A4版(40字×30行)。原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること。	○	○
⑨ 大学卒業後の研究業績一覧(本学所定のもの:35頁)	○	○
⑩ 封筒B(本学所定のもの:受験票送付用) 344円分の切手を貼付すること。	○	○

(注) 上記②、③に掲げる証明書には、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館等公的機関が証明した、日本語又は英語の訳文原本を添付してください。

文学研究科 言語文化コミュニケーション専攻(修士課程)

1. 入学試験概要

	第1期募集	第2期募集
入学定員	8名	
募集人員	4名	4名
募集対象	一般入学 リカレント入学 外国人留学生入学	一般入学 リカレント入学 外国人留学生入学
出願期間	2022年8月29日(月)～9月5日(月) 消印有効	2023年1月13日(金)～1月20日(金) 消印有効
試験日	2022年9月24日(土)	2023年2月25日(土)
試験場	北星学園大学校舎(37頁の試験場案内図参照)	
試験時間割	試験科目	選抜方法
9:50	集合着席	一般入学・リカレント入学(職業人入学)・外国人留学生入学 学力検査(口頭試験)及び提出書類の審査によって行う。 口頭試験は、「専門知識」について行う。 専門知識の出題は受験票郵送時に同封する英語で書かれた文章(4,000～5,000語)を基に行い、日本語で試問する(一人につき30分間)。 150点のうち20点分については、提出された英語検定、ケンブリッジ英語検定、国連英検、TOEFL、TOEICのいずれかの成績によって判定する。 現職の中学校、高等学校及び高等専門学校の英語教育に携わっている教員は、その20点分を免除する。免除を願い出る場合は、出願書類「入学志願票A票」の所定の欄に「○」をつけるとともに、関係書類(13頁「3.出願書類」⑬)に示す身分証明書を同封すること。
10:00)	口頭試験 (150点)	
合格発表	2022年9月30日(金)10時	2023年3月3日(金)10時
入学手続締切	2022年10月14日(金)15時	2023年3月10日(金)15時

※ 北星学園大学学内選考(推薦)入試

北星学園大学の在学学生を対象に学内選考(推薦)入試を実施している。募集要項及び推薦基準は、学内で発表する。

2. 出願資格

(1) 一般入学

下記の①～⑧のいずれかであって、かつ英語検定、ケンブリッジ英語検定、国連英検、TOEFL、TOEIC のいずれかを受験している者。ただし、現職の中学校、高等学校及び高等専門学校
の英語教育に携わっている教員は、前述の英語検定等の受験の有無は問わない。なお、中学校、
高等学校及び高等専門学校以外で現職の英語教育に携わっている教員の英語検定等の受験に関する
ことについては、入学資格事前審査対象とする。

- ① 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見
込みの者。ただし、外国の国籍を有する者は公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政
法人国際交流基金が実施する日本語能力試験N1に合格していること。
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修することにより当該外国の学校教育にお
ける16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者。ただし、外国の国籍
を有する者は公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日
本語能力試験N1に合格していること。
- ④ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ⑤ 外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされ
るものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施
設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023（令和5）年
3月修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満
たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了
した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた
者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1.入学資格事前審査」参照）
※個別の入学資格審査は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者など大学卒業
資格を有していない者が対象

(2) リカレント入学（職業人入学）

次の出願資格①、②を満たす者

- ① 「(1) 一般入学」の①～⑧のいずれかであって試験日時点において、2年（24か月）以上の
職業経験を有している者。ただし、大学（昼間部）在学中の者を除く
- ② 英語検定、ケンブリッジ英語検定、国連英検、TOEFL、TOEIC のいずれかを受験している者。
ただし、現職の中学校、高等学校及び高等専門学校の英語教育に携わっている教員は、前述の
英語検定等の受験の有無は問わない。なお、中学校、高等学校及び高等専門学校以外で現職の
英語教育に携わっている教員の英語検定等の受験に関することについては、入学資格事前審査
対象とする。（17頁「1.入学資格事前審査」参照）

(3) 外国人留学生入学

外国の国籍を有する者で、次の①～③のいずれかに該当し、かつ、英語検定、ケンブリッジ英語
検定、国連英検、TOEFL、TOEIC のいずれかを受験している者。ただし、現職の中学校、高等学
校及び高等専門学校の英語教育に携わっている教員は、前述の英語検定等の受験の有無は問わない。
なお、中学校、高等学校及び高等専門学校以外で現職の英語教育に携わっている教員、英語で教育
をする大学を卒業した者及び卒業見込みの者の英語検定等の受験に関することについては、入学資
格事前審査対象とする。（17頁「1.入学資格事前審査」参照）

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者
- ② 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1. 入学資格事前審査」参照）
- ③ 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者
- （注）上記③に該当する者は日本語能力試験N1の資格は不要
ただし、①または②に該当する者は、公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験N1に合格している者

3. 出願書類

提出書類等	募 集 対 象		
	一般入学	リカレント入学	外国人留学生入学
① 入学志願票（本学所定のもの） A票とC票に、指示に従って鮮明な写真を2枚貼付すること	○	○	○
② 最終出身大学の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	○	○	○
③ 最終出身大学の単位修得・成績証明書	○	○	○
④ 履歴書（本学所定のもの：25頁）	○	○	○
⑤ 研究計画（修士課程で研究を深めたいテーマ及び研究計画） A4版（40字×30行）で2,000～4,000字とする（原稿用紙を使用する場合は、A4版400字詰横書きのものを使用すること）。	○	○	○
⑥ 封筒B（本学所定のもの：受験票送付用） 344円分の切手を貼付すること。	○	○	○
⑦ 最終出身学校長の推薦書	×	×	○
⑧ 日本語能力認定書（公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金の日本語能力試験N1）又は「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」 「2. 出願資格」の（3）外国人留学生入学の①、②に該当する場合	×	×	○
⑨ 身元保証書（保証人は日本国内在住者に限る、本学所定のもの：31頁）	×	×	○
⑩ 外国人登録証明書又は在留カードの写し（表面、裏面両方コピーしたもの）	×	×	○
⑪ 経費支弁計画書（本学所定のもの：33頁）	×	×	○
⑫ 英語検定、ケンブリッジ英語検定、国連英検、TOEFL、TOEICのいずれかの成績票の写し 現職の中学校、高等学校及び高等専門学校の英語教育に携わっている教員は不要。	○	○	○
⑬ 身分証明書 「口頭試験」のうち20点分免除を願い出る場合	○	○	○

（注）上記②、③、⑦に掲げる証明書には、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館等公的機関が証明した、日本語又は英語の訳文原本を添付してください。

（注）上記⑬に掲げる書類は、任命権者の発行する証明書に限る。

経済学研究科 経済学専攻（修士課程）

1. 入学試験概要

	第1期募集	第2期募集
入学定員	10名	
募集人員	3名	2名
募集対象	一般入学 リカレント入学 外国人留学生入学	一般入学 リカレント入学 外国人留学生入学
出願期間	2022年8月29日(月)～9月5日(月) 消印有効	2023年1月13日(金)～1月20日(金) 消印有効
試験日	2022年9月24日(土)	2023年2月25日(土)
試験場	北星学園大学校舎（37頁の試験場案内図参照）	
試験時間割	試験科目	選抜方法
12:50	集合着席	一般入学・リカレント入学（職業人入学）・外国人留学生入学 面接試験及び提出書類の審査によって行う。
13:00 }	面接試験 (100点)	
合格発表	2022年9月30日(金)10時	2023年3月3日(金)10時
入学手続締切	2022年10月14日(金)15時	2023年3月10日(金)15時

※ 北星学園大学学内選考（推薦）入試

北星学園大学の在学学生を対象に学内選考（推薦）入試を実施している。募集要項及び推薦基準は、学内で発表する。

2. 出願資格

(1) 一般入学

- ① 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者。ただし、外国の国籍を有する者は公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験N1に合格していること。
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者。ただし、外国の国籍を有する者は公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験N1に合格していること。
- ④ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ⑤ 外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023（令和5）年3月修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1. 入学資格事前審査」参照）
※個別の入学資格審査は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が対象

(2) リカレント入学（職業人入学）

「(1) 一般入学」の①～⑧のいずれかであって試験日時点において、2年（24か月）以上の職業経験を有している者。ただし、大学（昼間部）在学中の者を除く。

(3) 外国人留学生入学

外国の国籍を有する者で、次の①～③のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者
- ② 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2023（令和5）年4月1日現在で満22歳に達する者（17頁「1. 入学資格事前審査」参照）
- ③ 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2023（令和5）年3月卒業見込みの者

（注）上記③に該当する者は日本語能力試験N1の資格は不要

ただし、①または②に該当する者は、以下の日本語能力試験のいずれか1つにおいて、本学が定める水準に達している者

- ア 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1合格
- イ 大学専攻日語八級考試合格
- ウ 日本語検定協会及びJ.TEST事務局が実施する実用日本語検定（J.TEST）で準B級（700点）以上取得
- エ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）で「読解」「聴解・聴読解」の合計300点以上及び「記述」33点以上取得

3. 出願書類

提出書類等	募 集 対 象		
	一般入学	リカレント入学	外国人留学生入学
① 入学志願票（本学所定のもの） A票とC票に、指示に従って鮮明な写真を2枚貼付すること	○	○	○
② 最終出身大学の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	○	○	○
③ 最終出身大学の単位修得・成績証明書	○	○	○
④ 履歴書（本学所定のもの：25頁）	○	○	○
⑤ 研究計画書（修士課程で研究を深めたいテーマ及び研究計画） 本学所定の様式を用いて、研究テーマ、志望理由、その研究テーマを決めた背景（動機）、研究目的（そのテーマで何を明らかにしたいのか）、研究テーマに関連する分野の学習歴または社会での関連する実務経験、研究の具体的方法〔どのような分野（理論経済学、計量経済学、…、etc）の先行研究を用いて、どのような手順で研究を行うのか〕を記述する。 （研究計画書の様式はホームページからダウンロードし、入力してください。）	○	○	○
⑥ 封筒B（本学所定のもの：受験票送付用） 344円分の切手を貼付すること。	○	○	○
⑦ 最終出身学校長の推薦書	×	×	○
⑧ 日本語能力試験等の合格又は得点を証明する書類 「2. 出願資格」の（3）外国人留学生入学の①、②に該当する場合	×	×	○
⑨ 身元保証書（保証人は日本国内在住者に限る、本学所定のもの：31頁）	×	×	○
⑩ 外国人登録証明書又は在留カードの写し（表面、裏面両方コピーしたもの）	×	×	○
⑪ 経費支弁計画書（本学所定のもの：33頁）	×	×	○

（注）上記②、③、⑦に掲げる証明書には、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館等公的機関が証明した、日本語又は英語の訳文原本を添付してください。

1～5までは各研究科共通

1. 入学資格事前審査

各研究科出願資格において個別の入学資格審査により本大学院の認定が必要な場合は、入学資格事前審査を受け合格しなければ、出願手続きを行うことはできません。

※ 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が対象

(1) 審査基準

【修士課程】

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等であって、実務経験や専門分野における一定の資質・能力を有する等、個人の能力の個別審査により当大学院修士課程で更に専門性の深化を目指すことが適切な水準に達しており、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

【博士〔後期〕課程】

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等であって、実務経験や専門分野における一定の資質・能力を有する等、個人の能力の個別審査により当大学院博士〔後期〕課程で更に専門性の深化を目指すことが適切な水準に達しており、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者

(2) 受付期間・結果通知

	第1期（修士課程）	第2期（修士課程） 博士〔後期〕課程
受付期間	2022年7月4日(月)～7月8日(金) 消印有効（持参の場合は16時まで）	2022年11月18日(金)～11月25日(金) 消印有効（持参の場合は16時まで）
結果通知	2022年8月19日(金)	2022年12月13日(火)
	上記の期限までに入学志願票A票にある連絡先に通知します。 また、審査のために提出していただいた書類は、全て返却します。※提出書類は次頁参照	

(3) 提出書類

提出書類等	修士課程	博士〔後期〕課程
① 入学志願票 A票（本学所定のもの） ※検定料は出願期間中に納めること。	○	○
② 最終出身学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	○	○
③ 最終出身学校の単位修得・成績証明書	○	○
④ 履歴書（本学所定のもの：25頁）	○	○
⑤ 研究計画（各研究科「3. 出願書類」⑤に示すもの）	○	○
⑥ 大学卒業後の研究業績一覧（本学所定のもの：35頁）	×	○
⑦ 現場経験を踏まえた実践記録（※社会福祉学研究科のみ）	○	○
⑧ 各種資格や免許の保有が証明できるもの（※社会福祉学研究科のみ）	○	○
⑨ 英語検定、ケンブリッジ英語検定、国連英検、TOEFL、TOEIC のいずれかの成績票の写し（※文学研究科のみ）	○	×
⑩ その他、本大学院が必要とした書類		

(注) 上記②、③に掲げる証明書には、原本が正しく翻訳されたものであることを大使館等公的機関が証明した、日本語又は英語の訳文原本を添付してください。

2. 出 願 手 続

1. 出願方法

出願を希望するものは各研究科に記載されている出願書類を整え、本学所定の封筒Aを用いて、出願期間内に「簡易書留速達便」で送付してください。

※ 日本国外から、願書を送付する場合は郵便事情が異なりますので、締切日必着とします。

2. 入学検定料

① 30,000円

② 本学所定の払込用紙を用いて出願期間内に銀行の窓口で払い込み、領収書及び入学志願票A票に出納印を受けてください。

3. 出願手続上の注意

① 出願の際は、出願書類を一括して提出してください。

② 入学検定料が出願期間内に払い込まれた場合でも、出願書類が出願期間内（消印有効）に本学に到着しない場合には受付られません。

③ 出願後の志望専攻の変更は一切受けません。

④ 出願書類に不備があるものは、受けを保留します。

⑤ 一度提出した書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

⑥ 身体に障害のある、又は健康上配慮を要する志願者は、出願開始の2か月前までに必ず入試課へ電話で問い合わせてください。

⑦ 出願資格(外国の学校等の資格など)及び出願資格を証明する書類等について疑問がある者は、出願開始の2か月前までに必ず入試課へ電話で問い合わせてください。

4. 受験票

① 出願期間終了後に受験票B票を交付し、志願者あて速達郵便で送付します。

② 試験日の3日前になっても受験票B票が到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

3. 試験日程・試験場・合格発表

1. 試験日

【修士課程】

(第1期) 2022年9月24日(土)

(第2期) 2023年2月25日(土)

【博士〔後期〕課程】

2023年2月25日(土)

2. 試験場

北星学園大学校舎(札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号)

3. 受験にあたっての注意事項

(1) 試験場について

- ① 前日の試験場内の下見はできません。
- ② 試験当日は、集合着席時間の30分前から試験教室に入場できます。
- ③ 集合着席時刻までに、当日校舎入口掲示で指示する所定の試験会場に入室、着席して下さい。天候・雪害・交通渋滞等を考慮の上、余裕をもって入場してください。

(2) 受験上の注意

- ① 集合着席時刻から直ちに注意事項の伝達・説明を行い、引き続き試験問題を配付しますので、時間厳守の上、着席してお待ちください。
- ② 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン等の電源を切ってかばんにしまってください。時計代わりに使用することはできません。
- ③ 時計の持ち込みは、時計機能だけのものに限りです。アラーム機能がついている場合は、その機能を止めておいてください。
- ④ 答案は鉛筆で記入してください。
- ⑤ 各科目とも、試験時間終了の合図があるまで試験室を退席することができません。
- ⑥ 面接試験時には研究計画の写しを持ち込み参照することができます。

(3) 受験票

- ① 受験票は試験当日必ず持参してください。また、試験時間中は机上の見やすい位置に置き、試験室の出入りの際は必ず携行してください。
- ② 万一、受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、入試課に申し出てください。
- ③ 受験から入学手続まで、本学への問い合わせには受験番号が必要ですので、入学式まで受験票を保管しておいてください。

(4) その他の注意事項

- ① 昼食が必要な場合は各自持参してください。
- ② 上履きは不要です。
- ③ 試験当日は、特に指定した場所を除き、受験者以外の者の試験場内への立ち入りを禁止します。

4. 合格発表

【修士課程】

(第1期) 2022年9月30日(金)10時
(第2期) 2023年3月3日(金)10時

【博士〔後期〕課程】

2023年3月3日(金)10時

- ① 合格通知書及び入学手続きに必要な書類を本人あて速達郵便で送付します。なお、不合格者には何も送付しません。
- ② 「合格者受験番号」を大学ホームページで10時から公開します。
- ③ 合否の電話による問い合わせについては、一切応じません。

4 . 入 学 手 続

(1) 入学一時金納入期限

【修士課程】

(第1期) 2022年10月14日(金)15時
(第2期) 2023年3月10日(金)15時

【博士〔後期〕課程】

2023年3月10日(金)15時

(2) 入学手続きは、所定の期間内に入学一時金を納入するとともに、入学手続き書類を提出することによって完了します。入学一時金の納入に必要な書類は、合格通知書とともに郵送します。入学一時金の納入及び入学手続き書類の提出に際しては、本学所定の用紙を使用してください。

(3) 期限までに手続きを行わなかった場合には、入学の意思がないものとして取扱います。
また、外国の国籍を有する者は入学式以前にビザ(査証)が発給されていない場合には入学の意思がない者として取扱います。

(4) 入学一時金については、21頁「5. 入学金・学費等」を参照してください。

(5) 入学手続き書類

- ① 誓約書・同意書
- ② 出身大学(院)の卒業(修了)証明書及び単位修得・成績証明書
- ③ 学生証作成原簿(写真1枚貼付)
- ④ その他、本大学院が必要とした書類

詳細については、「入学に際しての必要な手続き」(2月下旬に送付予定)の指示に従ってください。

(6) 入学手続き終了以降で2023年3月30日16時までに、止むを得ず入学を取止めることを申し出た者については、入学金を除く納入金を返還します。詳しくは、入試課に連絡の上指示に従ってください。

5. 入 学 金 ・ 学 費 等

2023年度入学生の学費は、次のとおりです。学費及び諸納付金が現行額から改定された場合は別途連絡します。

(1) 2023年度入学生の学費諸納付金 <単位：円>

【修士課程】

学費・諸会費

費目		年次	
		1年次	2年次
入 学 一時金	入学金	100,000	—
	教育充実費	50,000	—
	小計	150,000	—
第1期 (前期)	授業料	350,000	350,000
	教育充実費	—	50,000
	諸会費 (学生教育研究災害傷害保険費)	2,080	—
	小計	352,080	400,000
第2期 (後期)	授業料	350,000	350,000
	小計	350,000	350,000
合計		852,080	750,000

実習費

授業料以外に、履修科目によって次の実習費の納入を必要とします。

実習費	授業科目名	金額
心理実践実習費	心理実践実習Ⅱ	45,000
	心理実践実習Ⅳ	90,000

(注)

- 1 北星学園大学の卒業生は、入学金を全額免除。
- 2 長期履修を許可された場合、1年ごとの学費は、通常の課程2年間で支払うべき学費を許可された年数で除した金額とする。
- 3 諸会費(2年間分)は、入学年度に徴収。
- 4 納入期限は第1期4月30日まで、第2期10月31日まで。

【博士〔後期〕課程】

学費・諸会費

費目		年次		
		1年次	2年次	3年次
入 学 一時金	入学金	100,000	—	—
	教育充実費	50,000	—	—
	小計	150,000	—	—
第1期 (前期)	授業料	350,000	350,000	350,000
	教育充実費	—	50,000	50,000
	諸会費 (学生教育研究災害傷害保険費)	3,120	—	—
	小計	353,120	400,000	400,000
第2期 (後期)	授業料	350,000	350,000	350,000
	小計	350,000	350,000	350,000
合計		853,120	750,000	750,000

(注)

- 1 諸会費(3年間分)は、入学年度に徴収。
- 2 納入期限は第1期4月30日まで、第2期10月31日まで。

(2) 博士〔後期〕課程の学費減免制度

博士〔後期〕課程の院生については、入学後3年間に限り、願い出により、入学金、教育充実費、授業料の二分の一相当額を減免する制度があります(手続の詳細は入学式後に財務課経理・財務係までお申し出ください)。

修士課程共通

6. 長期履修制度

(1) 制度の概要

本大学院修士課程は2年を標準修業年限としていますが、入学生が職業を有しているなど、2年での修業が困難であると認められる場合、申請により標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することを許可することがあります。

(2) 資格者

以下の理由により、標準修業年限での修業が困難な者

- 1 生計を維持するための職業に就いている者
- 2 家族の介護、出産・育児など家庭の事情を持つ者
- 3 通院の必要があるなど健康上の理由を持つ者
- 4 その他研究科において前3号に準ずると認められた者

(3) 長期履修期間

長期履修として標準修業年限を超えて履修をできる期間は、1年を単位とし、2年（合計3年または4年での履修）を限度とします。

※ 休学期間は、長期履修期間に算入しません。

※ 長期履修を認められた場合も、在学期間は6年を超えることはできません。

(4) 学費

通常の課程2年間で支払うべき学費を長期履修制度による履修年数で除した金額とします。実習費は履修時に支払うものとします。

(5) 長期履修計画の指導及び配慮

許可した学生には長期履修計画書に基づき、履修開始前のオリエンテーションなどでそれぞれの事情に応じた履修指導を行い、適切な履修が行われるよう配慮します。

長期履修を開始する年度の4月の履修登録期間において、履修年数など大きな変更がない範囲での長期履修計画書の修正を認めます。

長期履修する学生の履修単位の上限は16単位を目安とします。

「修士論文」「論文指導」「特定課題研究指導」の成績評価及び単位修得は、許可された長期履修期間の最終年度とします。

(6) 申請方法

次の書類を入学手続時に提出してください。

- 1 入学生用長期履修申請書
 - 2 長期履修計画書
 - 3 その他長期履修が必要であることを証明する書類
- 詳細は合格者に対し入学手続と一緒にご案内します。

7～8は経済学研究科のみ

7. 先取り科目等履修生制度

(1) 制度の概要

本大学院経済学研究科では、大学院進学を希望する優秀な者に対して、大学院入学前に先取り科目等履修生として大学院科目の履修を認める制度があります。先取り科目等履修生として修得した単位は、大学院入学後に修了要件に算入することができます。

(2) 資格者

<学内者>以下の3つの要件をすべて満たす者

1. 北星学園大学大学院経済学研究科進学希望者
2. 北星学園大学経済学部3年次在学中で、次年度卒業見込みの者
3. 出願時点の累計 GPA 順位が学科上位20%以内、または経済学検定(ERE または ERE ミクロ・マクロ)でのランク判定がB+以上、または経営学検定中級以上、あるいは同等と認める資格を有する者

<学外者>以下の2つの要件をすべて満たす者

1. 北星学園大学大学院経済学研究科進学希望者
2. 経済学検定(ERE または ERE ミクロ・マクロ)でのランク判定がB+以上、または経営学検定中級以上、あるいは同等と認める資格を有する者

※「同等と認める資格」については事前に問い合わせること

(3) 先取り履修

1. 研究科が指定した1年次配当科目を10単位まで履修可能です。
2. 先取り履修で修得した単位は、大学院入学後修了要件に算入することができます。
3. 先取り科目等履修生申請時に指導教員を決定します。
4. 先取り科目等履修生として在籍できる期間は1年を限度とします。

(4) 費用

登録検定料5,000円、履修登録料25,000円その他、履修単位数に10,000円を乗じた額が履修料となります。大学院入学後の授業料は、既修得単位数に応じて減免となります。

(5) 申請方法

先取り科目等履修生募集要項掲載の先取り科目等履修生願に出願書類を添付の上、提出してください。詳細は教育支援課 大学院担当までお問い合わせください。

8. 早期修了制度

(1) 制度の概要

本大学院経済学研究科では、大学院入学前に先取り科目等履修生として大学院科目を優秀な成績で修得し、特に優れた業績をあげた学生に対して、1年間の学位修得を認める早期修了制度があります。

(2) 資格者

以下の3つの要件をすべて満たす者

1. 先取り科目等履修生制度を利用した修了要件算入単位が10単位である者
2. 先取り科目等履修生制度を利用した科目を含む全履修科目の成績評価がA+である者
3. 論文執筆資格審査に合格した者

(3) 学費

通常の課程1年間で支払うべき学費とします（授業料は、先取り科目等履修生制度に基づき、既修得単位数に応じて減免となります）。

(4) 早期修了

1. 1年次前期で研究5科目および演習2科目（計14単位）を、また1年次後期で論文3科目（6単位）を履修します。
2. 1年次の6月に論文執筆資格審査を実施します。
3. 休学した場合、また成績評価等早期修了条件に満たない場合は、通常の課程・学費となります。

(5) 申請方法

入学前に早期修了申請書類を提出してください。詳細は教育支援課 大学院担当までお問い合わせください。

(6) 早期履修者への指導及び配慮

早期修了を許可した学生には早期修了計画書に基づき、適切な履修が行われるよう配慮します。

★受験番号

北星学園大学大学院入学試験

履 歴 書

(西暦) 年 月 日記入

志望専攻	研究科		専攻 (課程)
フリガナ			生年月日
氏名			(西暦) 年 月 日生
現住所	〒 _____		
電話番号	自宅: () _____	携帯: () _____	
E-mail	_____ @ _____		
年 月	学 歴 ・ 職 歴		
			高等学校 卒業
取得時期	資格・特技 (英語検定、TOEFL、手話通訳、点訳等)		
年 月			
活動期間	社会における活動		
年 月 ~ 年 月			

(注) 黒ボールペンで記入すること。

※外国人留学生入学の方は、小学校からの学歴を詳細に記入すること。

公認心理師法施行規則第1条の2に規定する科目に関する科目履修証明書

北星学園大学大学院 社会福祉学研究所 臨床心理学専攻(修士課程)

フリガナ	(セイ)	(メイ)	生 年 月 日
氏 名	(姓)	(名)	(西暦)
学部・学科			年 月 日生

大学における必要な科目		履修中	修得	対応する開講科目
1	公認心理師の職責	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	心理学概論	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	臨床心理学概論	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	心理学研究法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	心理学統計法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	心理学実験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7	知覚・認知心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	学習・言語心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9	感情・人格心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10	神経・生理心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	社会・集団・家族心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12	発達心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13	障害者・障害児心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
14	心理的アセスメント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15	心理学的支援法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
16	健康・医療心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
17	福祉心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
18	教育・学校心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19	司法・犯罪心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
20	産業・組織心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
21	人体の構造と機能及び疾病	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
22	精神疾患とその治療	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
23	関係行政論	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
24	心理演習	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
25	心理実習	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
上記25科目のうち履修・修得科目数		科目	科目	

(注)

- 一つの必要な科目に対応しているとした開講科目を、他の必要な科目に対応するとして記入することはできません。「履修中」「修得」欄は、履修中・修得した科目の□にレ点でチェックしてください。また履修・修得していない科目の□を取り消し線で消してください。
- 本証明書は、受験者自身が作成するものではありません。出身大学の証明書発行責任者から発行されたものを提出してください。
- 本証明書の記入にあたって、手書きの場合は必ずボールペン又は万年筆を使用してください（消せるボールペンは使用不可）。

上記の者は、当大学において上記科目を修めたことを証明します。

年 月 日
所在地

大学名

証明責任者



2017年9月15日以前に4年制大学に入学した者が対象

公認心理師法施行規則附則第3条に規定する科目に関する科目履修証明書

北星学園大学大学院 社会福祉学研究所 臨床心理学専攻(修士課程)

フリガナ	(セイ)	(メイ)	生 年 月 日
氏 名	(姓)	(名)	(西暦)
学部・学科			年 月 日生

	大学における必要な科目	履修中	修得	対応する開講科目
I	1 心理学概論	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 臨床心理学概論	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3 心理学研究法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4 心理学統計法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5 心理学実験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	上記Iの5科目のうち、履修・修得科目数	科目	科目	左記Iの5科目のうち、3科目以上を履修すること。
II	大学における必要な科目	履修中	修得	対応する開講科目
	6 知覚・認知心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	7 学習・言語心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	8 感情・人格心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	9 神経・生理心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	10 社会・集団・家族心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	11 発達心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	12 障害者・障害児心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
上記IIの7科目のうち、履修・修得科目数	科目	科目	左記IIの7科目のうち、4科目以上を履修すること。	
III	大学における必要な科目	履修中	修得	対応する開講科目
	13 心理的アセスメント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	14 心理学的支援法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	15 心理演習	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	16 心理実習	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
上記IIIの4科目のうち、履修・修得科目数	科目	科目	左記IIIの4科目のうち、2科目以上履修すること。ただし、16については、施設の分野及び時間数を問わない。	
IV	大学における必要な科目	履修中	修得	対応する開講科目
	17 健康・医療心理学(※)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	18 福祉心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	19 教育・学校心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	20 司法・犯罪心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	21 産業・組織心理学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
上記IVの5科目のうち、履修・修得科目数	科目	科目	左記IVの5科目のうち、2科目以上を履修する。 ※17をVとして履修した場合は、18から21までのうち2科目以上履修すること。	
V	大学における必要な科目	履修中	修得	対応する開講科目
	17 健康・医療心理学(※)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	22 人体の構造と機能及び疾病	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	23 精神疾患とその治療	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
上記Vの3科目のうち、履修・修得科目数	科目	科目	左記Vの3科目のうち、1科目以上を履修すること。 ※17をVとして履修した場合は、IVの※を参照。	

(注)

- 一つの必要な科目に対応しているとした開講科目を、他の必要な科目に対応するとして記入することはできません。「履修中」「修得」欄は、履修中・修得した科目の□にレ点でチェックしてください。また履修・修得していない科目の□を取り消し線で消してください。
- 本証明書は、受験者自身が作成するものではありません。出身大学の証明書発行責任者から発行されたものを提出してください。
- 本証明書の記入にあたって、手書きの場合は必ずボールペン又は万年筆を使用してください(消せるボールペンは使用不可)。

上記の者は、当大学において上記科目を修めたことを証明します。

年 月 日
所在地

大学名

証明責任者

Ⓡ

身元保証書

(西暦) _____年____月____日記入

北星学園大学長 殿

フリガナ _____

志願者氏名 _____

生年月日(西暦) _____年____月____日生

国籍 _____ 在留資格 _____

志望研究科・専攻 _____ 研究科 _____ 専攻 _____

私は、上記の者が北星学園大学大学院に入学のうへは、
学則を守らせ、その身元及び学費一切を保証し、貴大学に
ご迷惑をかけないことを誓約します。

保証人署名 _____ 在留資格 _____
(日本国内在住者) (外国籍の方のみ)

生年月日(西暦) _____年____月____日生 年齢 _____歳

現住所 〒 _____

電話番号 自宅:() - 携帯:() -

職業 _____ 勤務先 _____

志願者との関係 _____ 勤務先TEL () -

(注) 黒ボールペンで記入すること

キ
リ
ト
リ
線

経費支弁計画書

フリガナ _____

志願者氏名 _____

生年月日(西暦) _____年 _____月 _____日生

国 籍 _____ 在留資格 _____

志望研究科・専攻 _____ 研究科 _____ 専攻 _____

経費支弁者	金額(単位:円)
<input type="checkbox"/> 本人	¥ _____ /年
<input type="checkbox"/> 親族 ・経費支弁者氏名:(_____) ・志願者との関係: ※該当するものに○ (父・母・配偶者・その他 _____) ・住所:(_____) ・TEL:(_____)	¥ _____ /年
<input type="checkbox"/> 政府または財団 ・奨学金名称:(_____)	¥ _____ /年
<input type="checkbox"/> その他 ・詳細:(_____)	¥ _____ /年
合計:	¥ _____ /年

上記に記載した内容は、事実と相違ありませんので、計画の通り経費支弁することを誓約します。

志願者署名(自署): _____ 日付: _____年 _____月 _____日

- ※1) 留学する間の経費支弁方法について、該当する経費支弁者の□にすべてチェック(✓)をし、金額を明記してください。
- ※2) 経費支弁計画の内容は、入学試験の選考には影響しませんが、面接の際に内容を確認する場合があります。
- ※3) 入学手続時には、支弁者の「預金残高証明書」および「預金通帳の写し(名義・残高がわかる部分)」などについて、提出を求めます。この用紙は、コピーして保管してください。

(注) 黒ボールペンで記入すること

試験場案内図

〈北星学園大学校舎案内図〉

札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号 電話(011)891-2731(代表)

交通の便

- 札幌市営地下鉄東西線大谷地駅下車、1番出口を出て左へ進み、自転車置き場左折サイクリングロードを右折し徒歩5分。
- 札幌市内方面からタクシーで来学する場合、南郷通大谷地神社信号を右折し約200メートル。



